

教育推進部教育指導課

令和4年度学校評価の報告について

- 学校評価は、「学校運営の改善を目指し、教育水準の向上を図る」ことを目的とし、各学校園が、自校(園)の教育活動その他の学校運営の状況について、以下のとおり評価を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずることが、平成19年改正された学校教育法、同法施行規則に示されている。
 - ①教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること
 - ②学校の自己評価について保護者などの学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること
 - ③自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること

- 文京区教育委員会では、法改正に基づき平成20年度より学校評価を実施している。平成21年4月に「文京区立学校関係者評価委員会設置要綱」を定め、「学校関係者評価委員会」を組織して、学校関係者評価を実施することとした。平成22年度には、各学校からの学校評価報告とともに、区全体の状況を把握するための参考として、学校関係者評価に区共通項目を策定した。

- ここに、令和4年度学校評価の集計結果を示すとともに、学校支援の具体的な手立てを講じて、教育施策の実行状況や進展状況を把握する資料とする。

別紙 1 令和 4 年度学校関係者評価共通項目（集計結果）

(園)

幼稚園		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.94	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.97	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	10	0	0	0	3.88	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	3.82	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	10	0	0	0	3.90	A

(校)

小学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.85	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.81	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	20	0	0	0	3.79	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	19	1	0	0	3.69	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	18	2	0	0	3.70	A

(校)

中学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	9	1	0	0	3.74	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.88	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	9	0	1	0	3.63	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	8	2	0	0	3.58	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	9	0	1	0	3.58	A

※各関係者評価委員が4段階で評価した学校(園)の平均値を下記の基準をもとにABCDの4段階で評定したものの。
 (A: 4~3.4以上、B: 3.4未満~2.6以上、C: 2.6未満~1.8以上、D: 1.8未満)

別紙2 令和4年度 保護者アンケート(区共通項目)集計結果

	質問項目	幼稚園				
		とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
1	本校(園)の教育活動に満足している。	66.2%	32.0%	1.2%	0.0%	0.8%
2	本校(園)の子どもたちは、学校での生活が楽しいと感じている。	73.0%	26.1%	0.5%	0.0%	0.4%
3	本校(園)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	65.8%	30.1%	1.6%	0.1%	2.1%
4	本校(園)は、特色ある校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	64.3%	31.8%	2.2%	0.2%	1.5%
5	本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	/	/	/	/	/
	本園は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】	64.9%	31.8%	1.4%	0.3%	1.6%
6	本校は、日頃よりいじめの未然防止に適切に取り組むとともに、学校生活で起きたいじめ等の問題(本園は、園の生活で起きた子ども同士のトラブル)に対して、素早く丁寧に対応している。	58.9%	28.6%	3.0%	0.5%	9.0%
7	本校(園)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	63.6%	32.1%	2.1%	0.4%	1.8%
8	本校(園)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	51.9%	40.1%	4.2%	0.3%	3.5%
9	本校(園)は、区や学校の方針等に対する保護者の意見をよく聞き、保護者と協力して教育を進めようとしている。	50.1%	38.1%	4.6%	0.3%	6.4%
10	来校時や電話での本校(園)の教職員のあいさつや対応は、適切である。	80.7%	17.7%	1.4%	0.0%	0.1%
11	現在の本園の教育・環境に総合的に満足している。(幼稚園のみ)	64.4%	32.1%	2.7%	0.2%	0.6%

小学校					
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
	39.7%	54.2%	3.7%	0.7%	1.8%
	44.8%	47.9%	4.8%	0.8%	1.8%
	38.3%	50.0%	4.5%	1.0%	6.2%
	40.1%	46.2%	5.6%	0.6%	7.6%
	40.7%	49.5%	3.1%	0.5%	6.2%
	/	/	/	/	/
	28.4%	35.9%	5.4%	1.2%	29.2%
	43.1%	47.4%	2.5%	0.5%	6.5%
	40.0%	49.0%	6.0%	1.0%	4.7%
	33.2%	48.2%	5.0%	0.9%	12.6%
	66.0%	30.5%	1.9%	0.3%	1.3%
	/	/	/	/	/

中学校					
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
	32.7%	57.5%	6.3%	0.8%	2.7%
	37.6%	51.3%	5.4%	0.7%	4.9%
	33.8%	50.8%	6.7%	1.3%	7.3%
	27.7%	48.3%	12.6%	1.1%	9.7%
	22.1%	53.5%	10.7%	1.2%	12.4%
	/	/	/	/	/
	25.2%	33.9%	5.0%	1.6%	34.2%
	35.7%	49.8%	3.2%	2.1%	9.1%
	38.1%	48.9%	6.4%	1.3%	5.3%
	31.3%	47.7%	7.3%	3.1%	10.6%
	60.0%	35.6%	2.9%	0.4%	1.1%
	/	/	/	/	/

※ 数値は、各学校の平均値

幼稚園	家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> 園からの配布物に写真が多用されており、担任の降園時の話やお知らせノートにある内容とつながって理解することができてとても良い。 新型コロナウイルス感染症が落ち着き、地域の行事が再開され始めた。ニーズが高いので、幼稚園からも情報が発信できるとよい。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園には子どもたちが主体的に動くための環境や子ども同士の関係に大人が入り過ぎない配慮がなされている。 入園、進級の頃から比べると、どの幼児も自分の殻を破って自己発揮や自己表現ができている。伸び伸びと成長していることを感じている。
	教職員連携	<ul style="list-style-type: none"> 教育の基盤は信頼に支えられた人間関係である。子どもを中心に考え、肯定的に受け止め、教職員皆が温かく関わる姿勢がいい。 小学校、保育園との連携は、できることから工夫して行っている様子が分かった。小学校を身近に感じて過ごすことのできる環境は非常に大切である。 担任の先生だけでなく、園長先生、副園長先生も一緒に様々な活動に参加し、園児を見守る様子を常々拝見しています。文字通りチームで全園児の保育を行っており、オープンな雰囲気、全体の様子を適切に把握しながら教育活動を行っていることが伝わってきました。保護者の安心につながっていると思います。
小学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果は例年通り全国平均を上回っており着実に学力形成で成果を上げている。今年度、特に成果として注目すべき点はICT教育の充実である。保護者からの評価も高く、引き続き積極的な活用を期待したい。一方で、全国学力調査結果からは思考力・判断力・表現力を養う教育に力を入れる必要性も浮かび上がっている。来年度は算数の授業改善に着手する計画である。「出来る(解ける)」だけでなく、問題解決に深い思考を要する授業への改善を期待したい。 ユニバーサルデザインの考え方に基づく授業の実施によって、児童のアンケートでは、「先生は授業をわかりやすく進めてくれる」の数値が98%になっています。
	豊かな心・人間性・感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して素早く適切に対応している」の項目も、3.6%減少している。教員は誠実に職務に励んでいると思われるが、子供にとっては切実な問題であり、今後も重点的に取り組んでほしい。 小学校全体で挨拶することの重要性を認識しており、代表委員を中心とした挨拶活動によって学校全体の前向きな雰囲気や醸成している。児童が積極的に行っている清掃等の活動にもその影響が表れている。 「自由であればよく、規律は厳しくしてはいけない」のではなく、自分を表現することと規範意識のバランスのとり方を学ばせていく必要がある。大変だと思うが、塩梅よく教えてほしい。
	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 児童への授業アンケート実施や毎学期ごとの振り返りアンケートを行うなど工夫が見られる点が高く評価されます。学校から多くの発信の場や月一回の保護者来校の機会をつくるなど、また日常的に地域と子どもたちの様子巡回を行うなど、win-winの関係構築への取組みは常々高い評価がされています。 地域の方や保護者等、多くのゲストを招いて授業を行っている様子は、子どもたちにとって直接話を聞けるので、これからも多くの人を呼んだり、地域のいろいろな場所に出向いて授業をして欲しいと思います。
中学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートで「指示のわかりやすさ」を90%維持できた点、特に「授業のわかりやすさ」は昨年度より5%上昇し約90%まで上昇した点、いずれも非常に高く評価できると思われます。一方、「ICT活用のわかりやすさ」は85%程度と昨年度を下回る部分もあり、こうした点については、その理由・原因を探ると同時に、大学等も活用した研修などを積極的に進めてほしいと思います。 分かりやすい授業への取り組みは生徒の肯定感95%以上で、学年が上がるごとに上昇している。習熟度別授業、放課後授業なども充実している。
	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会環境委員主催の地域清掃や協働支援本部主催の地域清掃に多くの生徒達が参加し、地域町会等との協働が図られていることは素晴らしい。 地域の一員としての意識も高く、「ハロウィン謎解き2022」に50名のボランティアの参加が見られました。また9割近い保護者が「学校の教育活動に満足している」と回答していることから、今年度も保護者、地域からの信頼が得られていると考えます。 学校運営協議会との連携を軸に、支援地域本部やPTA役員会等の組織と緊密に連携し協働活動を行っており、目標は概ね達成されたと思われます。幼保・小学校等との相互活動も継続できていますが、保護者アンケートでは「情報発信が積極的である」との回答が70%に留まっているため、この点については改善の余地があるように思います。
	豊かな心・感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育と生活指導、主任層での情報交換を毎週実施しているのは素晴らしい。 生命や人権、人格の尊重を重視し、生徒との個別の面談などにも取り組んでいる。教員の日々の努力も評価されている。 支援学級ができてから、普通級の生徒と一緒に活動する場面をよく目にするようになった。LGBTQ++など生徒を取り巻く環境は日々変化している。一緒に活動することで、人を思いやる心などの育成が期待できる。今後も積極的な交流を望みます。